

第 19 回 CT サミット報告
札幌医科大学附属病院 平野 透

7 月 25 日 (土)、日本教育会館一ツ橋ホールにて第 19 回 CT サミットが開催されました。今回は **Exploration of next generation imaging technique**(次世代イメージングへの追及)というテーマで午前 10 時過ぎから午後 7 時まで CT 漬けの一日でした。

当番世話人の東千葉メディカルセンターの梁川氏によるプログラムは次世代イメージングを追及するためには基礎技術を習得することが重要であり、午前中のセッションでは今年度改定が予定になっている X 線 CT 撮影における標準化「～ガイドライン GuLACTIC～」の中から GuLACTIC 改定の目的、エビデンスに基づく造影 CT 検査、救急領域における撮影技術について解説がありました。

午後からはサミットテーマである次世代の CT に関する臨床研究として画像処理を行うための 3D ラボの構築、dual energy CT、逐次近似再構成の特性等の講演、そして近年逐次近似応用再構成または先ほど紹介した逐次近似再構成等新しい再構成画像が出現してきている現状で CT 画像の物理特性を再考する必要性を東北大学名誉教授の森 一生先生に講義して頂きました。森先生は今年の北海道ヘリカル CT 研究会でも講演されましたが、更にわかり易い内容で近年の CT 画像における物理評価について教えて頂きました。

そして最後は今年の JRC で大きな話題になった東芝の 0.25mm×128 列 CT のセッションで JRC のセッションと同じメンバーによる発表があり、JRC に参加した人には同じ話？と置いていたら最後にサプライズゲストとして、現在臨床または臨床研究に使用している 0.25mm×128 列 2 号機を所有している藤田保健衛生大学の片田和弘教授が実機の使用感や装置のポテンシャル、そして何よりも世界初の多くの臨床画像を見せていただき、近年にない面白いサミットでした。

CT サミットは代表世話人の藤田保健衛生大学の辻岡先生が言われているように学会でもなく CT を楽しんでいる仲間のイベントです。肩ひじ張らずに CT の技術を勉強したり、仲間達と情報交換したり自由に参加できる会なのです。このイベントに是非参加してみませんか？
来年は 7 月 9 日 (土) に今年と同じ会場で開催します。